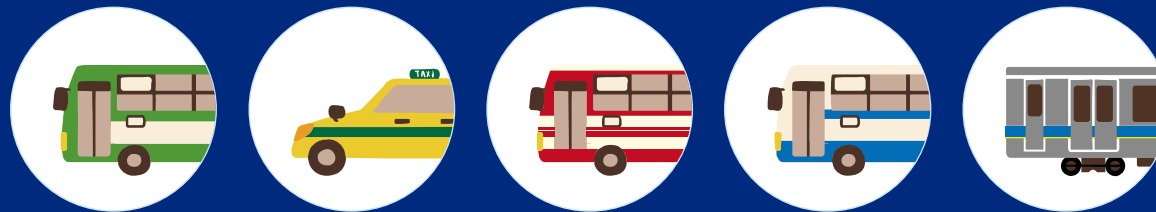


滝沢市地域公共交通網形成計画 の施策への取組み状況について



〈 第 1 3 回滝沢市地域公共交通会議 〉

令和3年3月15日（月） ビッグルーフ滝沢 大ホール

滝 沢 市
都 市 政 策 課

滝沢市 営業係長

ちやんぼん



1 公共交通利用向上プロジェクト

[施策 1 - 2] 市内移動における利便性向上

② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



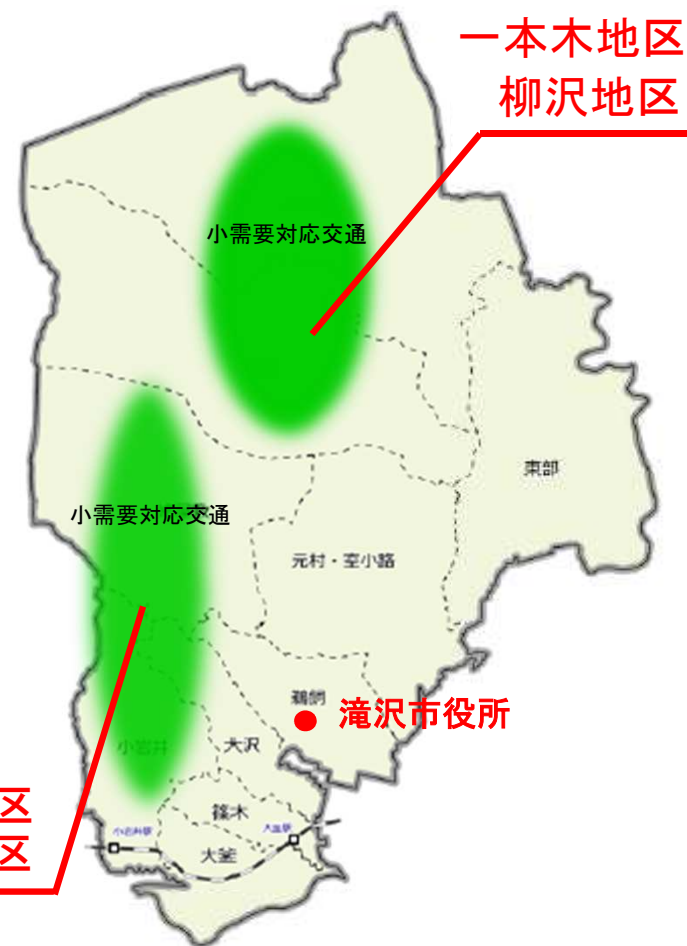
・ 実証実験に向けた方向性、運行計画の検討

今年度は、これまでの調査結果の整理、タクシー事業者へのヒアリング・アンケート調査等により、実証実験における調査内容、運行計画の検討を行った。



令和3年度 柳沢地区、姥屋敷地区で実証実験実施（令和3年度当初予算計上）

姥屋敷地区
小岩井地区



※地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

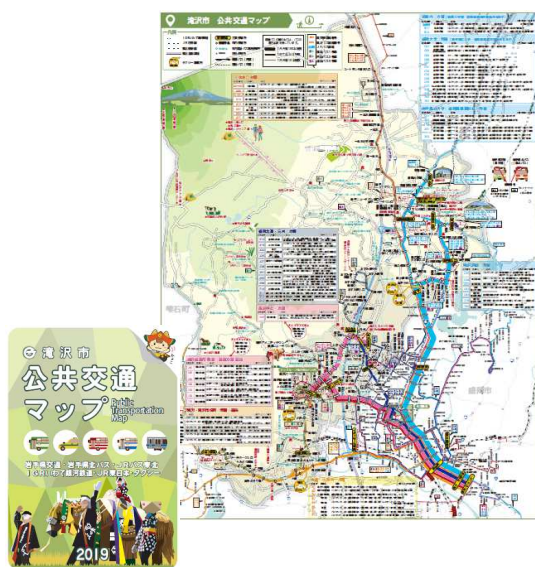
①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・「公共交通マップ2021」の作成

「滝沢市公共交通マップ2019」と昨年度作成した「地区別版公共交通マップ」を合わせて1冊にまとめたものを作成【現在作成中】

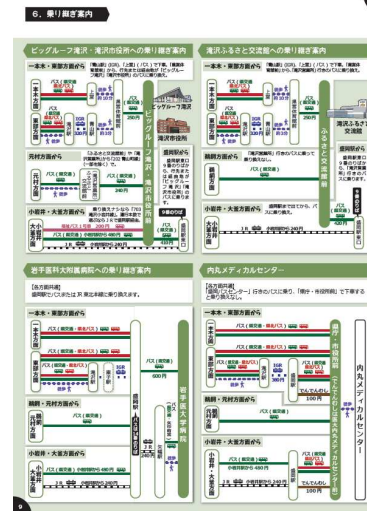
⇒ 令和3年4月から主に市内転入者へ配布予定



▲滝沢市公共交通マップ【2019】



▲地区別公共交通マップ



2冊をまとめたものを作成中

※地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・「広報たきざわ」掲載による公共交通の情報発信

市の「広報たきざわ」を活用し、公共交通に関するトピックスを掲載
 市民の公共交通への関心を高めるため、ボックスシェルター設置や公共交通マップ
 などの情報、交通事業者のコロナ対策を発信（6月15日号、10月15日号）
 12月1日号の巻頭ページには岩手県立大学の宇佐美誠史准教授に依頼し、
 コロナ禍での公共交通利用と高齢ドライバーの運転継続についての記事を掲載

滝沢市役所前バス停留所の乗降と待合施設改善を目的として、令和2年6月15日号の「広報たきざわ」(No.1025)に掲載しました。これまで滝沢方面に向かう路線バスは「滝沢市役所前(片側線)03バスのりば」が起発点となっていました。4月から「滝沢市役所前(両側線)02バスのりば」が起発点となりました。また、小笠原方面行きは「ビッグラフ滝沢101バスのりば」が起発点です。市報版バスのりば「03バスのりば」はこれまでと変わらないうえ、待合施設も改善されました。ボックスシェルター内には、バス時刻表、パンフレットを配置しており、乗客が安心してバスを利用できるようになっています。また、市内施設および滝沢市などの取組、緑葉製紙などへの乗り場が案内も掲載しています。市報版やビッグラフ滝沢の他、市報版でも随時掲載しています。この機会にぜひご自身の通勤・通学に活用してください。また、今回作成したマップを含む公共交通の情報は、市公式アプリ「滝沢NAV」から確認できます。

公共交通の認知度向上を目的として、令和2年6月15日号の「広報たきざわ」(No.1025)に掲載しました。これまで滝沢方面に向かう路線バスは「滝沢市役所前(片側線)03バスのりば」が起発点となっていました。4月から「滝沢市役所前(両側線)02バスのりば」が起発点となりました。また、小笠原方面行きは「ビッグラフ滝沢101バスのりば」が起発点です。市報版バスのりば「03バスのりば」はこれまでと変わらないうえ、待合施設も改善されました。ボックスシェルター内には、バス時刻表、パンフレットを配置しており、乗客が安心してバスを利用できるようになっています。また、市内施設および滝沢市などの取組、緑葉製紙などへの乗り場が案内も掲載しています。市報版やビッグラフ滝沢の他、市報版でも随時掲載しています。この機会にぜひご自身の通勤・通学に活用してください。また、今回作成したマップを含む公共交通の情報は、市公式アプリ「滝沢NAV」から確認できます。

公共交通の認知度向上を目的として、令和2年6月15日号の「広報たきざわ」(No.1025)に掲載しました。これまで滝沢方面に向かう路線バスは「滝沢市役所前(片側線)03バスのりば」が起発点となっていました。4月から「滝沢市役所前(両側線)02バスのりば」が起発点となりました。また、小笠原方面行きは「ビッグラフ滝沢101バスのりば」が起発点です。市報版バスのりば「03バスのりば」はこれまでと変わらないうえ、待合施設も改善されました。ボックスシェルター内には、バス時刻表、パンフレットを配置しており、乗客が安心してバスを利用できるようになっています。また、市内施設および滝沢市などの取組、緑葉製紙などへの乗り場が案内も掲載しています。市報版やビッグラフ滝沢の他、市報版でも随時掲載しています。この機会にぜひご自身の通勤・通学に活用してください。また、今回作成したマップを含む公共交通の情報は、市公式アプリ「滝沢NAV」から確認できます。

公共交通の認知度向上を目的として、令和2年6月15日号の「広報たきざわ」(No.1025)に掲載しました。これまで滝沢方面に向かう路線バスは「滝沢市役所前(片側線)03バスのりば」が起発点となっていました。4月から「滝沢市役所前(両側線)02バスのりば」が起発点となりました。また、小笠原方面行きは「ビッグラフ滝沢101バスのりば」が起発点です。市報版バスのりば「03バスのりば」はこれまでと変わらないうえ、待合施設も改善されました。ボックスシェルター内には、バス時刻表、パンフレットを配置しており、乗客が安心してバスを利用できるようになっています。また、市内施設および滝沢市などの取組、緑葉製紙などへの乗り場が案内も掲載しています。市報版やビッグラフ滝沢の他、市報版でも随時掲載しています。この機会にぜひご自身の通勤・通学に活用してください。また、今回作成したマップを含む公共交通の情報は、市公式アプリ「滝沢NAV」から確認できます。

▲「広報たきざわ」令和2年6月15日号

▲「広報たきざわ」令和2年10月15日号

▲「広報たきざわ」令和2年12月1日号

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・IGR滝沢駅にコラボデザインを設置

昨年度作成した、コラボデザインを使用した看板を、IGR滝沢駅に設置。
また、IGRの乗り方や路線図を記載したクリアファイルを作成。
令和2年8月に看板のお披露目セレモニーを開催し、利用促進グッズの配布も行った。



▲コラボデザインお披露目セレモニーの様子



◀▲ IGR滝沢駅コラボデザイン設置

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-1] 情報発信による認知度向上

① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成



・IGR滝沢駅にコラボデザインを設置



▲ IGR滝沢駅コラボデザイン設置

▲ IGR乗り方記載のクリアファイル作成、セレモニー等で配布

2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・「Out of KidZania in 滝沢」で子どもたちがお仕事体験

令和3年2月13日～3月6日の特定日、ビッグルーフ滝沢で開催
 2月20日、21日「鉄道マンの仕事」（IGRいわて銀河鉄道）、
 2月20日「バス運転士の仕事」（岩手県交通）のプログラムを実施

Out of KidZania in 滝沢 第2回

楽しく学べる 仕事体験!!

アウト オブ キッズニア

2021. 2.13(土)～3.6(日)

（特定日開催）
 楽しく学べる「100ピック」を体験しよう!

【会場】ビッグルーフ滝沢
 【対象】小学1年生～中学3年生

【料金】700円/名（17プログラム）
 ※参加費は別途お支払いください。

チケット購入方法
 購入会場 ビッグルーフ滝沢 総合案内
 受付時間 2.7日 9:00～

※詳しくは「100ピック」のホームページをご覧ください。

主催: 滝沢市・アルヒオたきざわ共同事業体
 お問い合わせ先: ビッグルーフ滝沢総合受付 (TEL: 019-656-7811)

2/13 2/14	ミュージカル 俳優の仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	2/13 2/14	自働車の 点検・清掃の仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	2/13 2/14	演習(バーベキュー) ホーローコンプレッサーの仕事 定員 (各5名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30
【大ホール】	NPO法人 復興歩道	【大ホール】	(株) 利通商事	【小ホール】	晋拓
2/14	職工の子屋の仕事 定員 (各3名) ① 10:00-11:00 ② 11:30-12:30 ③ 14:00-15:00	2/14	水産屋の仕事 定員 (各8名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	2/20	設計プランニング の仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30
【小ホール】	森いとばた	【大ホール】	水産部(株)	【小ホール】	(有) 山井建設
2/20	バス運転士の 仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	2/20	電部鉄線職人の 仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	2/20 2/21	鉄道マンの仕事 定員 (各5名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30
【小ホール】	岩手県交通(株)	【作室】	タヤマスタジオ	【大ホール】	いわて西野鉄道(株)
3/6	繊維加工職人の 仕事 定員 (各3名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	3/6	新聞記者の仕事 定員 (各4名) ① 9:30-10:30 ② 11:00-12:00 ③ 13:30-14:30	※本日は山作業の様子です。 写真の内容が異なる場合があります。	
【小ホール】	(株) 川崎織機	【小ホール】	(株) 岩手日報社	<体験方法> ●事前にチケットをお買い求め下さい (先着順・なくなり次第終了) ●イベント当日は、各会場にて受付を 行います。仕事体験チケットを所持の 上、加齢5分前までに会場入り下さい	

<注意事項・閉場禁止の主な取り組み>
 ●当イベントおよびプログラムは都合により、急遽変更または中止となる場合があります。
 ●下記感染症予防対策にご協力ください。
 ・参加の際は「Out of KidZania in 滝沢」参加申込書に、代表者様の連絡先等の記入をお願いいたします。
 (同意いただけない場合は、参加をお断りさせていただきます。)
 ・入場の際は、必ずマスクの着用(2層以下の布手拭きマスク)と手洗いの準備をお願いします。
 ・37.5℃以上の発熱の場合は、入場をお断りさせていただきます。
 ※上記内容は、2021年1月31日現在の内容です。今後、政府・自治体などの指針に則り、上掲内容を変更する
 場合がございます。予めご了承ください。

対象学年：小1～中3

それぞれ1日3回実施

参加者数 延べ42人
 (全ての回で満定員)

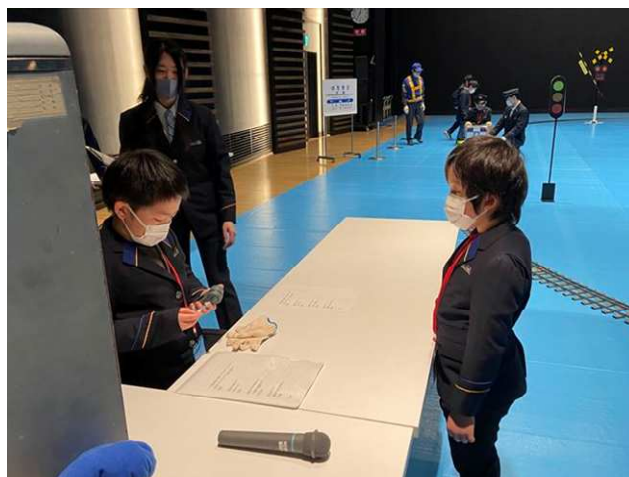
2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

① 児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催



・「Out of KidZania in 滝沢」で子どもたちがお仕事体験



▲当日の様子

2 公共交通の認知度向上プロジェクト 〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



・ I G R いわて銀河鉄道車両への全面ラッピングを実施（コロナ対策事業）

I G R いわて銀河鉄道と連携し、I G R 初となる1編成2両への全面ラッピングを実施。

お披露目セレモニーを3月22日（月）午前10時45分からI G R 滝沢駅で開催予定。



デザインは3月22日にお披露目！！

・「I G R すきになっちゃうガイド」の作成（コロナ対策事業）

I G R や I G R 沿線の魅力等を記載した、「I G R すきになっちゃうガイド」を作成し、来年度市内小中学生に配布予定。【現在作成中】



※地方創生臨時交付金(国)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

〔施策3-1〕交通拠点整備による利便性向上

①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善



・ビッグルーフ滝沢バス停にサイクルポート等を整備

平成30年7月にビッグルーフ滝沢に路線バスの乗り入れが開始され、市役所及びビッグルーフ滝沢の両バス停は、市内及び盛岡方面へ向かうバス交通の拠点となった。

サイクルアンドバスライドの推進のため、ビッグルーフ滝沢バス停にサイクルポートとサイクルラック、バイク駐車を整備



▲ 1番のりば（ビッグルーフ滝沢） サイクルポート、サイクルラック、バイク駐車場

※地域経営推進費(県)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上

①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善



・滝沢市バスロケーションシステム整備事業補助金（コロナ対策事業）

岩手県交通と岩手県北バスの2社に対して、バスロケーションシステム設置に要する経費の補助を行った。

補助額は、GPS車載器等設置に要する経費の3分の1。

【補助実績】

岩手県交通（78台）：2,080,000円

岩手県北バス（85台）：1,105,000円

合計：3,185,000円



※地方創生臨時交付金(国)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上



①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善

デジタルサイネージを設置（コロナ対策事業）

市内の交通結節点である滝沢市役所へ1台、ビッグルフ滝沢へ4台設置し、岩手県交通株式会社で導入しているバスロケーションシステムを表示する。

運用開始式を3月25日（木）午前10時からビッグルフ滝沢で開催予定。

定刻	方面（行き）	乗り場	路線名
20:47	滝沢営業所 行き 經由地 細谷地、滝沢小学校口、滝沢ふさと交流館前	1番 ビッグルフ滝沢	[202] 青山町線
20:48	盛岡バスセンター 行き 經由地 県営体育館前、館坂橋、夕顔瀬橋、盛岡駅前、大通三丁目、県庁・盛岡市役所前	1番 ビッグルフ滝沢	[202] 青山町線
21:07	ビッグルフ滝沢 行き 經由地 官前、滝沢総合公園前、上山団地	2番 滝沢市役所前（道路沿い）	[203] 青山町線
21:08	盛岡バスセンター 行き 經由地 県営体育館前、館坂橋、夕顔瀬橋、盛岡駅前、大通三丁目、県庁・盛岡市役所前	1番 ビッグルフ滝沢	[202] 青山町線
21:27	滝沢営業所 行き 經由地 細谷地、滝沢小学校口、滝沢ふさと交流館前	1番 ビッグルフ滝沢	[202] 青山町線

この画面に表示している情報は、時刻表の情報に基づいて表示されています。
実際のバスは定刻より遅れてくる場合がありますので、ご注意ください。



▲サイネージ画面イメージ
(現在画面デザイン作成中)

▲サイネージ設置箇所の一部（ビッグルフ滝沢「バス待ちの小屋根」、
滝沢市役所「正面玄関」）

※地方創生臨時交付金(国)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策 3-1] 交通拠点整備による利便性向上



② 多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善

・ I G R 巢子駅への駅名標の設置

平成30年度 I G R 滝沢駅に駅名標を設置。
今年度は I G R 巢子駅に同様の駅名標を設置予定。
→ ホーム柱 1 1 か所へ駅名標を設置 【令和3年3月完了予定】



▲ 駅名標設置イメージ (デザインは現在作成中)

3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-2] 利用しやすい交通体系の構築

① 交通弱者に対する交通施策の展開



・滝沢市公共交通回数券購入等補助事業（コロナ対策事業）

市民及び市内の大学に通う学生に対して、バスカードや電車の回数券等を購入した際の購入費、タクシーを利用した際の運賃に対する補助を行った。

補助額は、購入費や運賃の合算額の2分の1（上限額4,000円）

【補助内容】

令和2年8月1日から
令和2年12月31日まで
に購入(利用)したもの

購入費又は利用運賃の
合算額の2分の1
(上限額4,000円)を補助

※組み合わせ自由
※定期券購入費を除く

バス



岩手県交通

バスカード

岩手県北自動車

バスカード・特殊通学回数券（盛岡大学生用）

JRバス東北

回数券（高速バス利用分は除く）

電車



IGRいわて銀河鉄道

回数券

JR東日本

回数券（新幹線利用分は除く）

タクシー



県内に本社または営業所がある
タクシー会社(個人タクシー含む)

利用運賃



※地方創生臨時交付金(国)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト 〔施策3-2〕利用しやすい交通体系の構築 ①交通弱者に対する交通施策の展開



・滝沢市公共交通回数券購入等補助事業（事業実績）

申請者数： 2,947件（市民: 2,504件 学生: 443件）
補助金支払額： 11,060,060円（申請者一人平均:3,752円）

【年齢別申請数】 ※申請日時点での年齢、未就学児は補助対象外

（単位：件）

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
申請数	32	517	446	206	462	378	347	402	147	10	2947

【各事業者別 申請数及び購入実績】 ※複数回答

	県交通	県北バス	JRバス	IGR	JR	タクシー	合計
申請数(単位：件)	2426	268	2	271	109	228	3304
購入金額(単位：円)	19,245,000	1,937,000	56,000	1,512,100	642,900	1,482,430	24,875,430

※地方創生臨時交付金(国)を活用

3 公共交通の環境改善プロジェクト 〔施策3-2〕利用しやすい交通体系の構築 ①交通弱者に対する交通施策の展開



・滝沢市公共交通回数券購入等補助事業（事業実績）

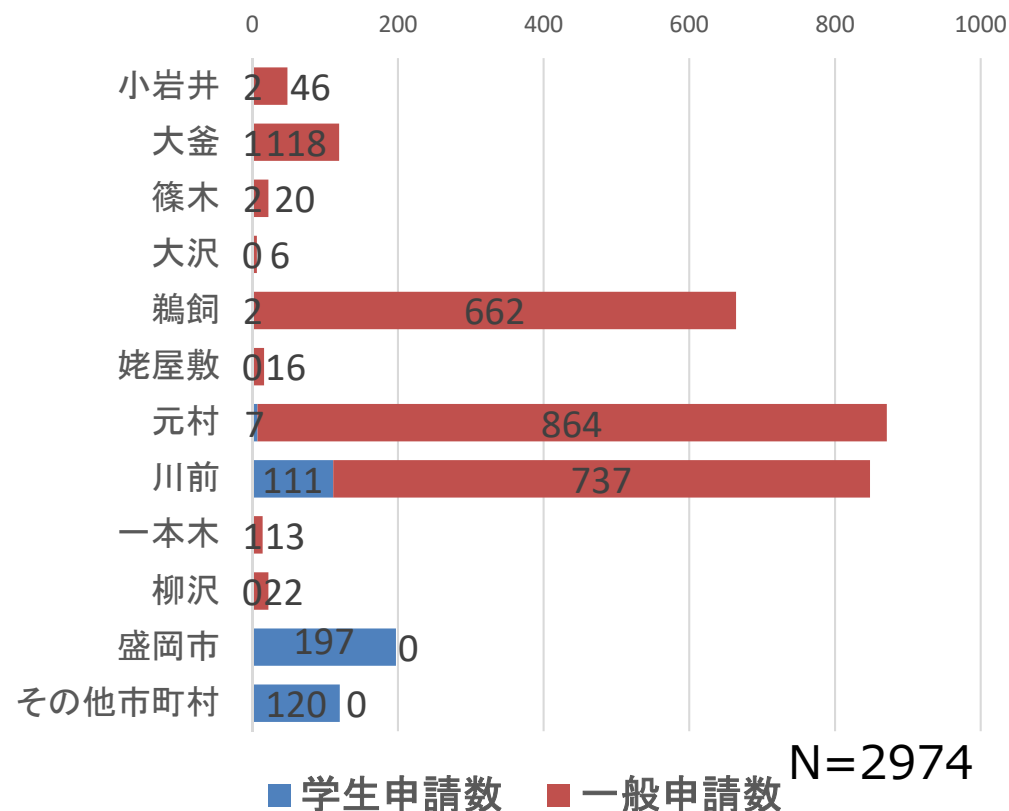
【地区別申請者数】

（単位：件）

	学生申請数	一般申請数	合計申請数
小岩井	2	46	48
大釜	1	118	119
篠木	2	20	22
大沢	0	6	6
鶺鴒	2	662	664
姥屋敷	0	16	16
元村	7	864	871
川前	111	737	848
一本木	1	13	14
柳沢	0	22	22
盛岡市	197	0	197
その他市町村	120	0	120
合計	443	2504	2947

地区別申請者数

（単位：件）



※地方創生臨時交付金(国)を活用

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

① 大学と連携した公共交通施策の展開



・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案 【1年生】

前年度と同様に3グループが実現可能な市の公共交通施策を検討
テーマ：「IGRラッピング車両を活用した利用促進案」

令和2年12月23日（水）に県立大講義室で発表会を開催した。



▲授業の様子



▲発表会の様子



▲岩手日報、盛岡タイムス新聞記事



4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

① 大学と連携した公共交通施策の展開



・会計年度職員（学生アルバイト）の雇用（コロナ対策事業）

コロナ対策事業の一つで、会計年度職員として学生アルバイトを雇用。
岩手県立大学、岩手大学の学生3名が、令和2年8月～令和3年2月まで都市政策課に配属された。

公共交通回数券購入等補助事業の申請書類の入力作業や窓口対応、コラボデザインお披露目セレモニーの運営、公共交通マップの作成など公共交通関連の業務に従事してもらった。



※地方創生臨時交付金(国)を活用

▲学生アルバイトの勤務の様子

4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

②モビリティマネジメントの推進



・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進

平成30年11月から全庁での試験運用を実施。令和元年11月から本格運用としている。

市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進を行い、職員自らが公共交通の利用機会を創出するとともに、日常的な公共交通の利用につなげる。(市民に対しての公共交通利用の啓発、環境への負担軽減なども同時に図る)今年度はコロナの影響で利用者が減っている。

【令和元年11月から令和2年10月までの1年間の実績 ()内は前年同期間】

延べ利用人数：55人 (149人)

使用金額：45,830円 (108,480円)

【バスカード使用制度の試行について】

- 公共交通の利用促進のため、職員の出張の際にバスカードが使用できるようになりました。
- 県庁・盛岡駅方面は、ビッグライフ・市役所から20分おきにバスが出ているのでバスの利用が便利です。
- 詳しい使用方法は、下記のファイルをご覧ください。

ファイル管理 - (バス時刻表)

タイトル	ファイル名	更新日時	サイズ
★ 右の時刻表をクリックしてください⇒	ビッグライフ・市役所⇄県庁・盛岡駅バス時刻表(R1.10.1改正)【平日】.pdf	2019年09月30日 (月)	170 KB
★ 使用方法は右をご覧ください ⇒	バスカードの使用方法 (最終変更20190408) .docx	2019年04月10日 (水)	132 KB

スケジュール (グループ表示)

2019年04月14日 (日)

ユーザー (1-3 件表示 / 3 件中)	04/14 (日)	04/15 (月)	04/16 (火)	04/17 (水)	04/18 (木)	04/19 (金)	04/20 (土)
新バスカード (A)	☑	☑	☑ 13:00-17:15 消費軽減軽減税率制度等に依る研修会 (企業振興課 大機 (内線4132)) 【バスカード (A)】	☑ 13:00-20:00 岩手の高校教育を考えるフォーラム：プラザおでっで (企画総務部 岡田2100) 【バスカード (A)】	☑ 09:00-14:00 岩手県内PCB廃棄物 少量保管事業者種向け処理委託 契約等説明会：岩手銀行 (財務課 小西・2173) 【バスカード (A)】	☑ 13:00-04/22 (月) 平成31年度第1回岩手県都市財政運営連絡協議会：盛岡市 (財務課 櫻岡・2183) 【バスカード (A)】	☑ 04/19 (金) -04/22 (月) 平成31年度第1回岩手県都市財政運営連絡協議会：盛岡市 (財務課 櫻岡・2183) 【バスカード (A)】

▲職員の内部情報システムからバスカード利用予約ができる



・交通事業者を対象とした支援金等（コロナ対策事業）

市内に乗降可能なバス停留所を有する**乗合バス事業者**、市内に本社又は営業所を有する**貸切バス事業者**、盛岡交通圏を営業区域とする個人タクシーを含む**タクシー事業者**に対して、支援金を給付。

また、**IGRいわて銀河鉄道**に対して、県及び沿線市町と共に運行支援交付金及び利用促進協議会負担金を交付。

【支援金実績】

乗合バス事業者（3社）	：	31,650,000円
貸切バス事業者（4社）	：	2,720,000円
タクシー事業者（23社）	：	4,980,000円
個人タクシー事業者（4社）	：	505,000円
IGRいわて銀河鉄道（市負担分）	：	8,728,000円



合計 ：**48,583,000円**

今後の施策への取組



令和3年度に実施を予定している主な取組

- ・小さな交通需要に対応したサービスの検討（実証実験）
- ・公共交通マップ2021を配布開始【令和3年4月～】
- ・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成
- ・チャグバスの運行【令和3年5～6月予定】
- ・たきざわバスまつり2021の開催【令和3年7月予定】
- ・全国バスマップサミットの開催
【令和3年12月4日（土） 会場：ビッグルーフ滝沢】



今後の課題として各関係機関と協議中の取組と 検討が必要な取組

- ・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成
- ・市の中心市街地形成（市役所周辺）と連携した移動手段の検討
→ 長年の課題として、市内各地域から市役所周辺までの移動手段が少ないことが挙げられる。
現在検討を進めている中心市街地形成に合わせた路線バスの運行経路見直し等について、バス事業者と協議し、**中心市街地までの移動手段の確保**を検討

滝沢市地域公共交通網形成計画 施策・プロジェクト実施スケジュール表【平成29年度～令和4年度】

●.....▶ 検討・協議
→.....▶ 実証・実施
●.....▶ 計画上のスケジュール

施策・プロジェクト	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度														
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1 公共交通の利便性向上プロジェクト																														
【施策1-1】地域間幹線軸の品質・サービスの向上																														
①市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）	●.....▶																													
・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成	●.....▶																													
②拠点形成の変化に合わせた経路の見直し（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）	●.....▶																													
・路線バス青山町線の一部再編（ビッグルーフ滝沢への乗り入れ）	●.....▶																													
・市役所周辺バス停の統合、運行経路の見直し	●.....▶																													
【施策1-2】市内移動における利便性向上																														
①市内主要拠点を結ぶ地域内交通ネットワークの検討（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・中心拠点形成に合わせた路線バスの運行経路の見直し	●.....▶																													
②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・地域特性に応じた交通サービスの検討（柳沢・姥屋敷地区）	●.....▶																													
2 公共交通の認知度向上プロジェクト																														
【施策2-1】情報発信による認知度向上																														
①公共交通の案内・情報発信ツールの作成（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・「滝沢市公共交通マップ」の作成	●.....▶																													
・地区別「滝沢市公共交通マップ」の作成	●.....▶																													
・「広報たきざわ」掲載による公共交通の情報発信	●.....▶																													
・公共交通に関する「ちやぐぼん」の新デザイン作成	●.....▶																													
・IGR滝沢駅へのコラボデザインの設置	●.....▶																													
・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成	●.....▶																													
②スマートフォン等を活用した情報発信（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・滝沢ナビ（スマートフォンアプリ）を活用した公共交通に関する情報発信	●.....▶																													
【施策2-2】イベント実施等による認知度向上																														
①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・バスの乗り方教室の開催	●.....▶																													
・「Out of KidZania in 滝沢」の開催	●.....▶																													
②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施（実施主体：市、関係機関（観光・商業）、交通事業者）	●.....▶																													
・チャグバスの運行（観光連携）	●.....▶																													
・IGRラッピング車両の運行（観光連携）	●.....▶																													
3 公共交通の環境改善プロジェクト																														
【施策3-1】交通拠点整備による利便性向上																														
①主要拠点の交通環境の強化・待合環境の改善（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））	●.....▶																													
・市役所及びビッグルーフ滝沢でのバスカード販売	●.....▶																													
・市役所及びビッグルーフ滝沢バス停の待合環境整備	●.....▶																													
・次世代型バスロケーションシステムの実証実験	●.....▶																													
・次世代型バスロケーションシステムの設置	●.....▶																													
・ビッグルーフ滝沢バス待合所へのサイネージ設置（実証実験）	●.....▶																													
・ビッグルーフ滝沢・滝沢市役所へのサイネージ設置	●.....▶																													
・ビッグルーフ滝沢バス停サイクルポート等の設置	●.....▶																													
②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））	●.....▶																													
・路線バス（青山町線系統）の目的地表示をわかりやすく改善	●.....▶																													
・バス停留所名称の統一（改善）	●.....▶																													
・IGR滝沢駅への駅名標や乗継案内サイン看板の設置	●.....▶																													
・IGR菓子駅への駅名標の設置	●.....▶																													
【施策3-2】利用しやすい交通体系の構築																														
①交通弱者に対する交通施策の展開（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））	●.....▶																													
・交通弱者を対象とした助成・割引等の支援	●.....▶																													
・滝沢市公共交通回数券購入等補助事業の実施	●.....▶																													
②乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）	●.....▶																													
・交通機関同士の接続性を考慮したダイヤ編成	●.....▶																													
4 多様な主体と連携・協働プロジェクト																														
【施策4-1】市民の公共交通に対する意識醸成																														
①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催（実施主体：市、市民）	●.....▶																													
・市民を対象とした意見交換会の実施	●.....▶																													
・公共交通セミナーの実施（交通ジャーナリスト・鈴木文彦氏）	●.....▶																													
②地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討（実施主体：市、市民）	●.....▶																													
・高齢者の移動手段に関する意見交換会の実施	●.....▶																													
【施策4-2】協働・連携による体制づくり																														
①大学と連携した公共交通施策の展開（実施主体：市、交通事業者、市内大学）	●.....▶																													
・岩手県立大学生による調査・研究（小岩井地区意見交換会）	●.....▶																													
・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案	●.....▶																													
②モビリティマネジメントの推進（実施主体：市）	●.....▶																													
・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進	●.....▶																													
・転入者へのモビリティマネジメント（公共交通利用動機付け冊子の作成）	●.....▶																													
③交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施（実施主体：市、交通事業者）	●.....▶																													
・交通ドライバー確保に向けたPRポスターの掲示、配布	●.....▶																													